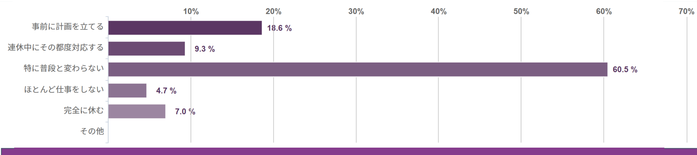
大型連休中の仕事に関する調査

【実施期間】
2024年8月

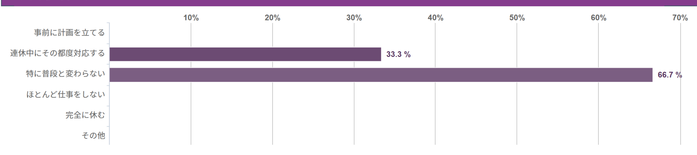
大型連休中の仕事の計画

－あなたは、大型連休中の仕事について、どのように計画を立てていますか？

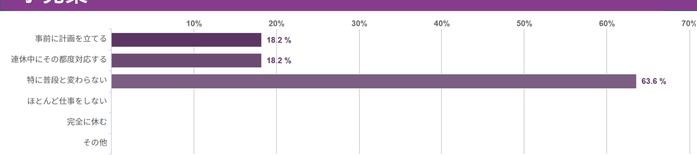
美容業



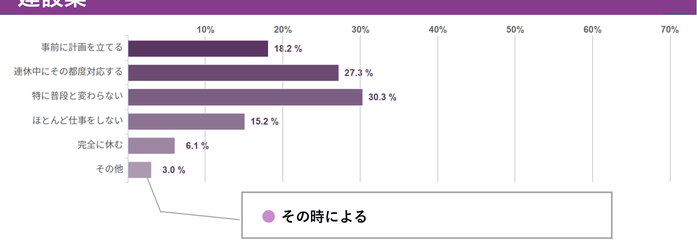
飲食業



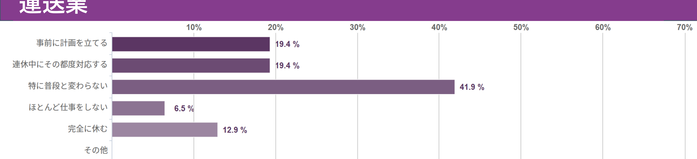
小売業



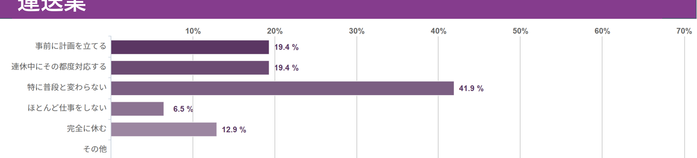
建設業



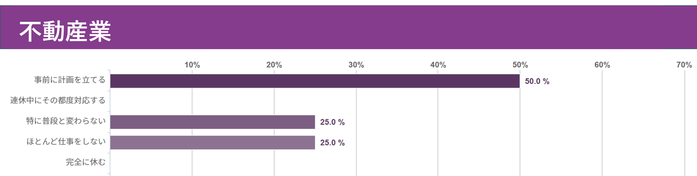
運送業



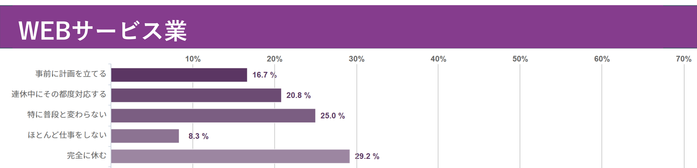
運送業



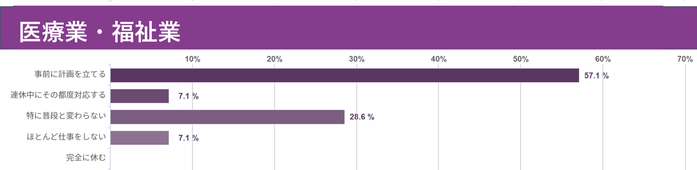
不動産業



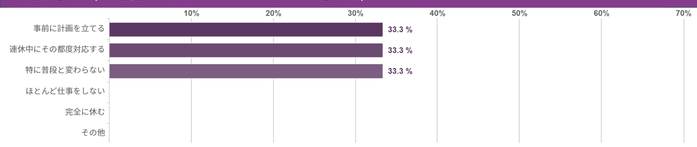
WEBサービス業



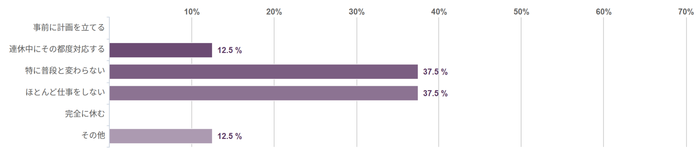
医療業・福祉業



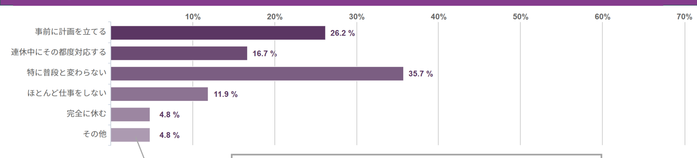
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



その他

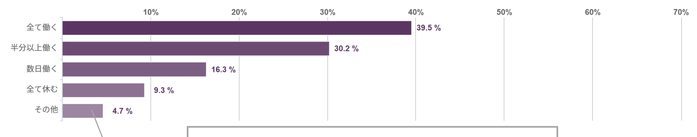


- 基本、練習か試合
- 事前にある程度予定をたてるが、
  たまっている仕事を片付ける予備日としておく

大型連休中の仕事状況

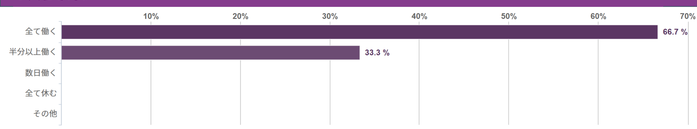
－あなたは、大型連休中も仕事をしますか？

美容業

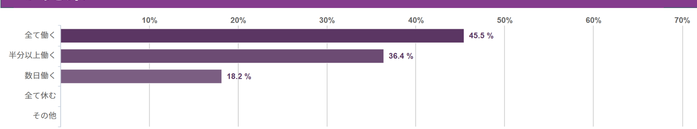


- 定休日なら休む
- その時による

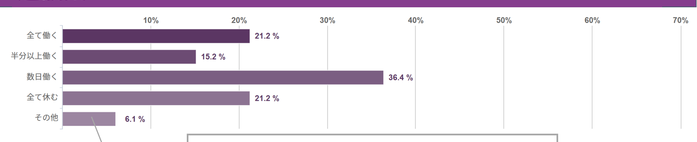
飲食業



小売業

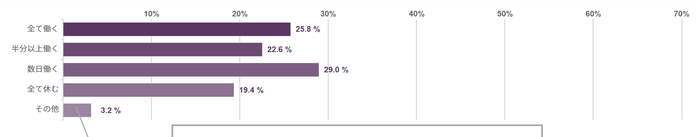


建設業



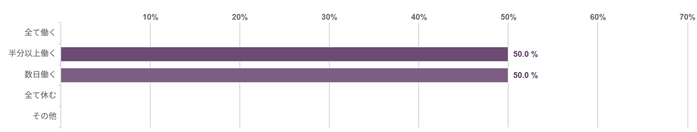
- あれば働く
- その時による

運送業

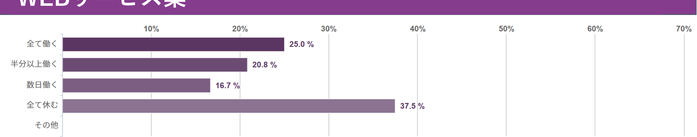


- 案件が出れば対応する

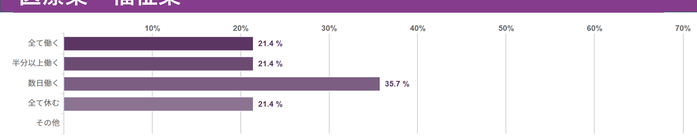
不動産業



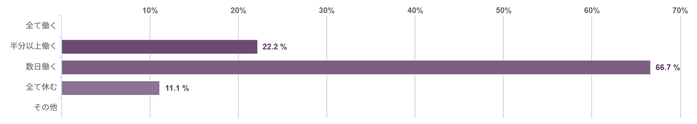
WEBサービス業



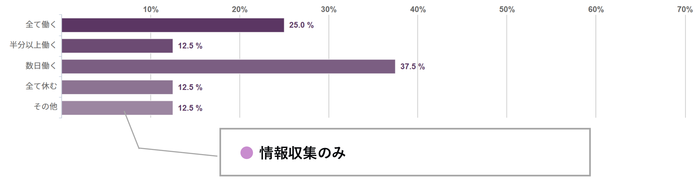
医療業・福祉業



専門家(士業・FP・コンサルなど)

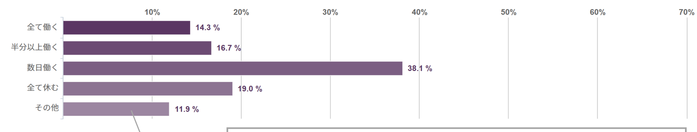


個人投資家



- 情報収集のみ

その他



- 普段できない情報収集や学習の時間にあてている
- いつもより1日休み追加でほぼ同じ
- 子供との時間を優先するように調整する
- お客様の要望があれば
- カレンダー通り

大型連休中に仕事するメリット

– 仕事をする理由、働くことで得られるメリットをあなたの業界の特徴等を含めて教えてください

美容業

- どこに行っても混んでて、高くサービスもイマイチなので外して休む
- 一般の休みに働いて、みんなが仕事の時に休むと空いていていい
- 個人事業主なので、午前中に数人だけ施術して休む
- お客さんが休みだから働く
- 他の日に分散するだけなので連休は取らない
- 連休を避けて休みを取ると、旅行費用などがだいぶ安くなるし空いていてストレスが少ない
- 定休日以外は営業予定
- 仕事をすることでプライベートで出かけなくて良くなるから出費が減る
- 人が多い時に休むのが元々好きじゃないので働くようにしている
- 帰省されてきたお久しぶりのお客様の予約を受けれる事がメリット
- お客さんも休みの方が多いため来店される方が多い
- 大型連休でも営業をしているとお客さんは来るので祝日は基本的に営業している
- 大型連休はお客様がけっこう来店される
- 他店が休みの場合は、お客様が流れて売り上げがあがる場合もある
- 普段からみんなが休みの日に仕事をしている
- 人が動くときに働くことで人が集まりやすい

飲食業

- 大型連休は人が動くので、稼ぎ時のため営業する
- お客様が増えるため売上を伸ばすチャンス
- スタッフのスキルアップやシフトの調整が柔軟になる
- 連休だったりおやすみの日が1番忙しい

小売業

- 基本一人で仕事をしているので連休があっても休めない
- 連休中は売れやすい傾向にある
- 生鮮食品を扱うので、需要の多い時期に休みを多く取ることができない
- 連休中も適度に仕事をすることで、休業明けの仕事にスムーズに入れる
- 売上の向上と安定
- 普段来店できないお客様が来店する可能性かある
- 新規顧客獲得のチャンス
- 他のライバルが休んでいる中働くため売上アップの可能性がある

建設業

- 個人事業主なので、仕事があれば仕事する
- 工場が休業してるときにメンテナンスするので仕事は休日が多い
- 仕事はタイミングが大切なので、仕事を優先する
- 現場に出勤する業者が少ないので重宝される
- 在宅のお客様の仕事があれば、出来る限り対応する
- 工期が決まっているから仕事を休む暇がない
- 工期間に合わせる為
- 日曜日しか休みじゃないお客さんの対応ができる
- 仕事が詰まっており、お客さんから連休中でも作業して良いと承諾いただけたら作業する
- 仕事かあればするスタンスなので休みでも仕事する
- その時にやらなければいけない仕事がある

運送業

- 365日毎日仕事がある
- 安定した収入を確保するため
- 交通量が少なくなり、配達がしやすい
- 高速道路は要注意
- 荷物は常に届くので代わってもらえる人がいないと休めない
- フードデリバリーの仕事は連休が稼ぎ時
- 仕事先の都合で連休中に対応しなければならない業務が発生する
- 他のドライバーが休んでいる事が多いので割の良い案件が回ってくる可能性が高い
- 出かけても混んでることが多いので、休みをずらす
- 休みを分散させる事により、交通混雑などをさけている

不動産業

- 何処の機関も休みが多いので苦情が来る可能性が高い
- 何もしないでいるなら少し働いていた方がずっと休むよりいい
- 前後の出張や年間の休日日数か考慮して、働くか休むか調節している
- お盆中に賃貸物件の仕上げに業者が来る

WEBサービス業

- 休日関係なく業務は発生する
- ほかの人が休んでいるために、追加がなくゆっくり仕事ができるのがメリット
- 稼動すれば収入につながる
- 連休中はかき入れどき
- 普段より宣伝や売上に力をいれたい
- 働くことが習慣になっているため、"休む"ことを意識しておらず自然と働いてしまう
- 連休中も社会情勢等によりニュースが生まれるので、仕事は必要
- 緊急対応、締切厳守、顧客サポート維持
- 信頼向上、効率的時間活用、繁忙期収入増加

医療業・福祉業

- 他の業者との違いが出来る
- 対象者が高齢者なので出掛けない
- 他が休みなので、新規を取りやすい
- 痛みや症状の訴えに対応する為に、大型連休は取らないようにしている
- 休みがある日の方が仕事が増えて集中的に仕事できる
- どこに行くにも混んでいることが多いので仕事をする

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 取引先がストップしている間に色々と溜まっているタスクを片付ける機会にする
- 事前にアポイントが入っている
- 顧客が動いているので、対応する事があれば対応する
- 働いた方が売上になる
- 電話対応が少なくて効率が良い
- クライアント依頼案件がある
- 繁閑の差があるので、繁忙期は働かざるを得ない
- クライアントからの信頼を得られやすい

個人投資家

- 仕事というか確認、記録といった作業なので時間がかからない
- 他の人と差をつけるチャンス
- 常に市場は動いているため大型連休など関係ない
- 集中作業ができたり、競争の減少やタスク進行の効率化をはかれる
- あまり連休をとってしまうと仕事勘が鈍ってしまう
- 定期非常勤のため有給がないので働く

その他

- 連休は自宅で作業するので、大きな影響はない
- 委託先の勤務が休みの場合、普段できない検証や学習の時間に当てている
- 連休中にしか来店いただけないお客様もいるため
- 大型連休でしか会えない方がいらっしゃるため
- 溜まった仕事を片付けて、休み明けスッキリはじめられる
- 私の仕事では連休、大型連休での稼働が多いため売り上げに繋がる
- 帰省などでお客様に会える
- アポが取りやすい
- 営業活動というよりも知識のブラッシュアップなど普段できないことを行える
- 休日に仕事をすることで安定を得られる
- 急な車の入替とかに対応する必要がある
- 連休中だからといって、テレビが放送なくなることはないので変わらない
- 連休中の方が、予約が入りやすく稼ぎやすい
- 社内のヘルプデスクという業務もあるため
- お客様がお休みの時に需要がある仕事なので稼ぎ時である
- イベント事業の為平日よりも休日の方が稼げる
- 自分の仕事が出来る
- 新しいことに挑戦ができる
- 納期に間に合わせる為と目標としている月の売上の確保
- お客様の予定次第なので、連休の方が会える人とは会って仕事する

大型連休中に休む理由・メリット

– 休む理由、休むことで得られるメリットをあなたの業界の特徴等を含めて教えてください。

美容業

- 家でしているので、息子達が帰ってくるから
- 子供とすごす時間を確保する事ができる貴重な時
- 子供の都合
- やりたい事ができる
- リフレッシュできる
- 連休中はプライベートが忙しい

建設業

- 大型連休なんだから現場も閉所で休み
- 毎年お盆は仕事をしているのですが、今年はケガの影響で休むことにした
- 建築業は、現場も休みになるので仕事が少なくなる
- メーカーや工務店等が休みになるところが多いので基本休みになる
- ハウスメーカーなどが大型連休するから
- 商社などがストップしてしまうので仕事をしたくてもやれる事が少ないので休む
- 休みをとって旅行行ったり温泉行ったりして、リフレッシュする

運送業

- 荷物がすくなくなり、稼働しても利益出ない
- 委託元企業が夏季休暇の為、それに合わせて休む
- 身体を休息させてリフレッシュできる
- 集中力が必要なので心身ともにリフレッシュすることで事故率が下がる

WEBサービス業

- 休みと仕事の切り替えをあいまいにしてしまうと休む暇がなくなってしまう
- 気持ちのリフレッシュができる
- リフレッシュ休暇によりエネルギーを充電する

医療業・福祉業

- 取引先も休みのため、仕事がないのもあり完全にやすむ
- 仕事の意識はありながらも考えずに楽しむことも大事
- お盆やお正月は患者さんが忙しく通えない方が多いため、開けても予約が入らない

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 顧客企業が休みのため、急な仕事がない限りは、休むようにしている
- 仕事から離れる時間を作り、ストレスをケアするようにしている

個人投資家

- 家族と一緒に過ごすことが多いので、パソコンは開かないようにしている

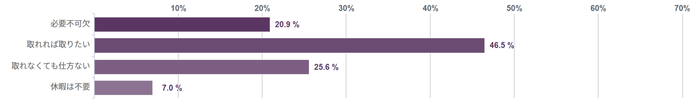
その他

- 休み中に自分の好きな勉強が出来る
- 事前に計画しているので、休みの日は仕事をしない事にしている
- 普段仕事しすぎだから
- 休む理由はリフレッシュとリセット
- フリーランスとしてシステム開発に携わっているため、相手の体制に合わせている
- 今の現場は土日祝日は基本的に休みの現場

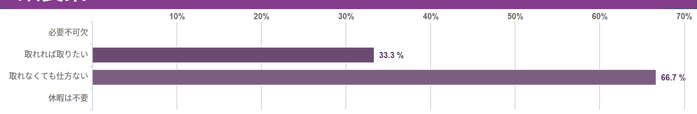
大型連休中に休む必要性

－大型連休中に休暇を取ることに対して、どのように感じますか？

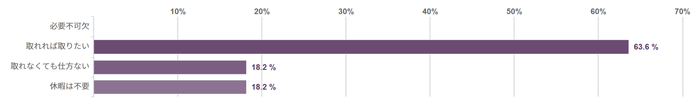
美容業



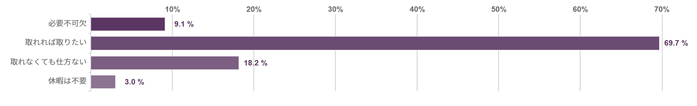
飲食業



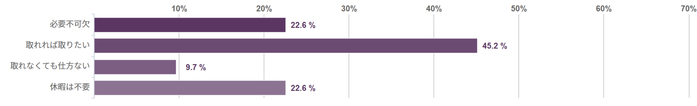
小売業



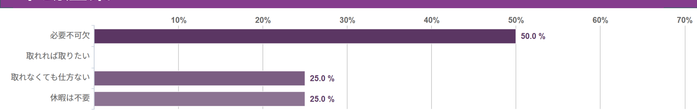
建設業



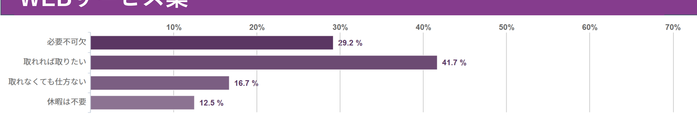
運送業



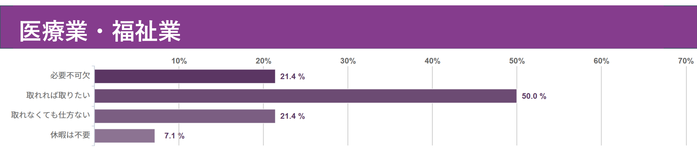
不動産業



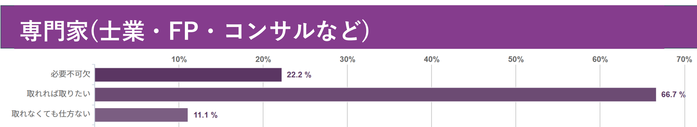
WEBサービス業



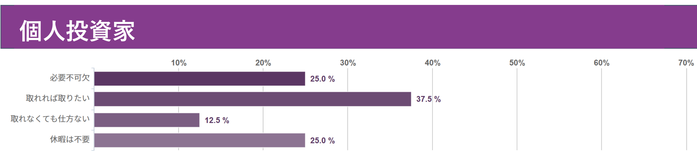
医療業・福祉業



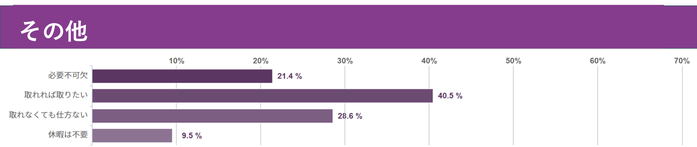
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



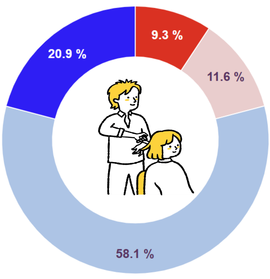
その他



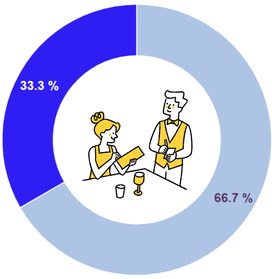
大型連休中の仕事へのストレスレベル

－大型連休中に仕事をする際のストレスレベルはどのくらいですか？

▼ 美容業

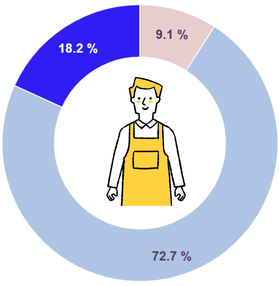


▼ 飲食業

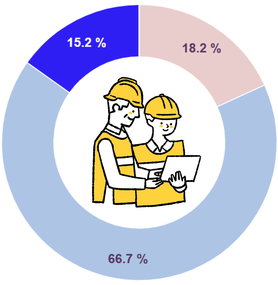


非常に高い　ある程度高い　あまり感じない　全く感じない

▼ 小売業

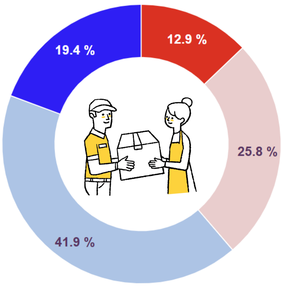


▼ 建設業

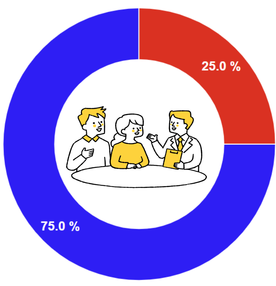


非常に高い　ある程度高い　あまり感じない　全く感じない

▼ 運送業

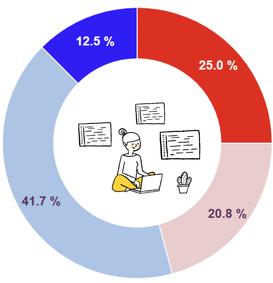


▼ 不動産業

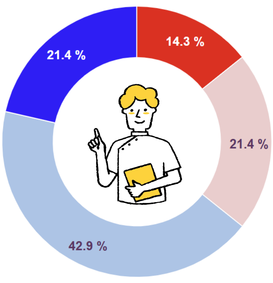


非常に高い　ある程度高い　あまり感じない　全く感じない

▼ WEBサービス業

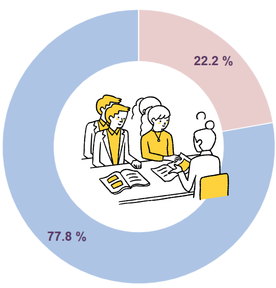


▼ 医療業・福祉業

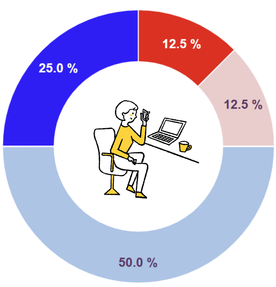


非常に高い　ある程度高い　あまり感じない　全く感じない

▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

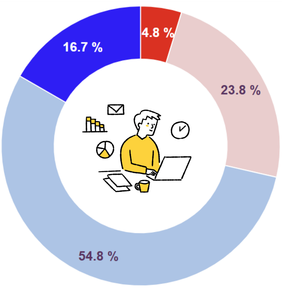


▼ 個人投資家



非常に高い　ある程度高い　あまり感じない　全く感じない

▼ その他

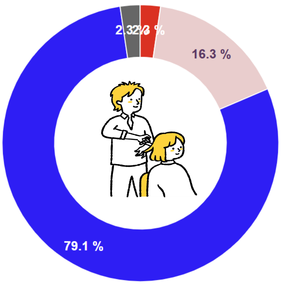


非常に高い　ある程度高い　あまり感じない　全く感じない

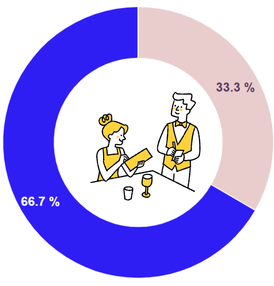
大型連休中の営業時間

－あなたは、大型連休中に売り上げを増やすために営業時間を変更しますか？

▼ 美容業

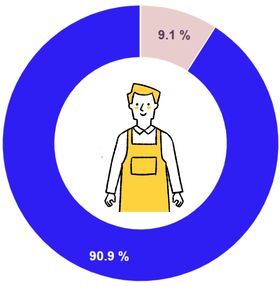


▼ 飲食業

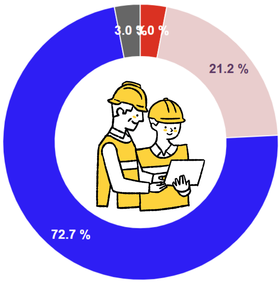


変更する　変更するときもある　変更しない　その他

▼ 小売業

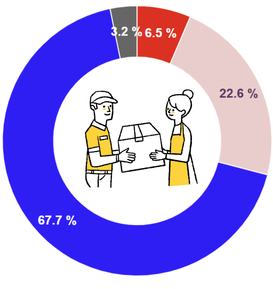


▼ 建設業

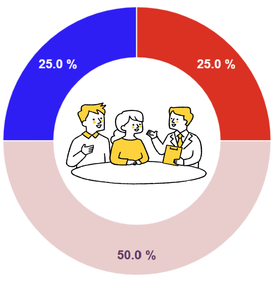


変更する　変更するときもある　変更しない　その他

▼ 運送業

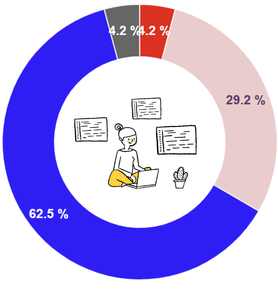


▼ 不動産業

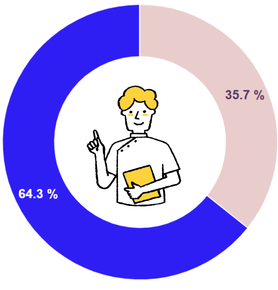


変更する　変更するときもある　変更しない　その他

▼ WEBサービス業

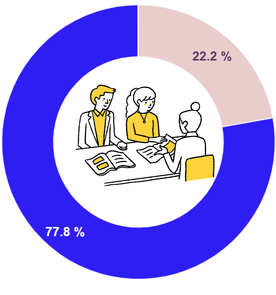


▼ 医療業・福祉業

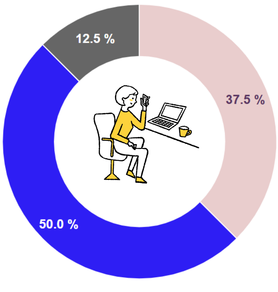


変更する　変更するときもある　変更しない　その他

▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

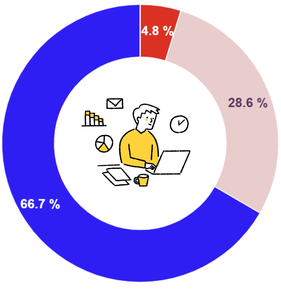


▼ 個人投資家



変更する　変更するときもある　変更しない　その他

▼ その他

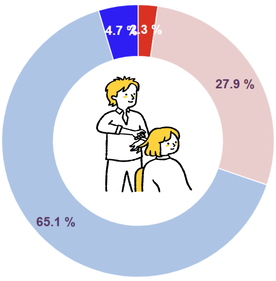


変更する　変更するときもある　変更しない　その他

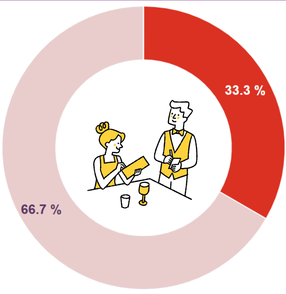
大型連休中の売上増減

－大型連休中の売り上げ増減は、あなたの事業にどの程度影響しますか？

▼ 美容業

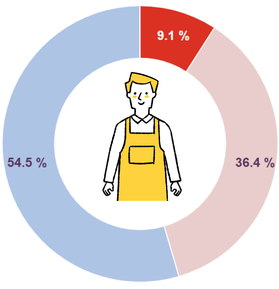


▼ 飲食業

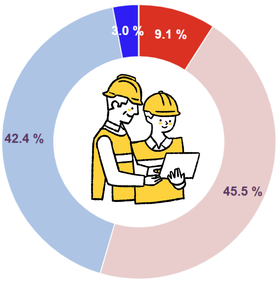


非常に大きい　ある程度大きい　あまり影響しない　まったく影響しない

▼ 小売業

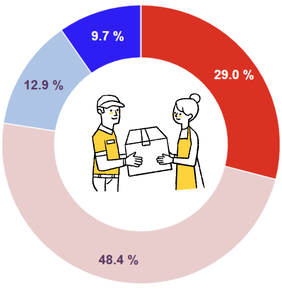


▼ 建設業

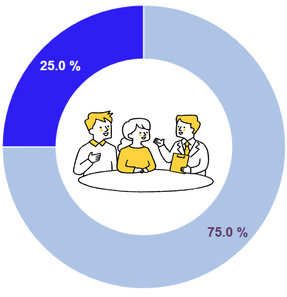


非常に大きい　ある程度大きい　あまり影響しない　まったく影響しない

▼ 運送業

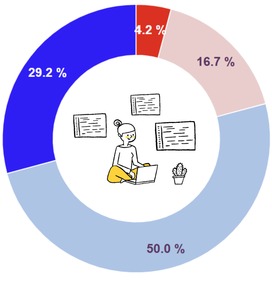


▼ 不動産業

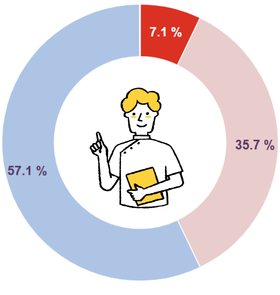


非常に大きい　ある程度大きい　あまり影響しない　まったく影響しない

▼ WEBサービス業

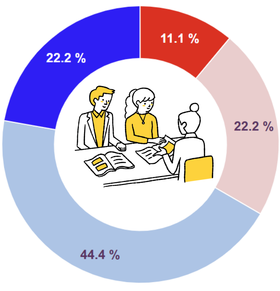


▼ 医療業・福祉業

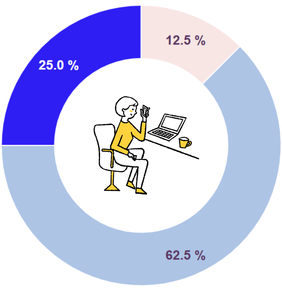


非常に大きい　ある程度大きい　あまり影響しない　まったく影響しない

▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

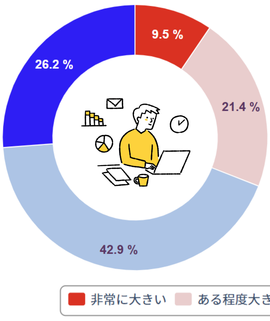


▼ 個人投資家



非常に大きい　ある程度大きい　あまり影響しない　まったく影響しない

▼ その他

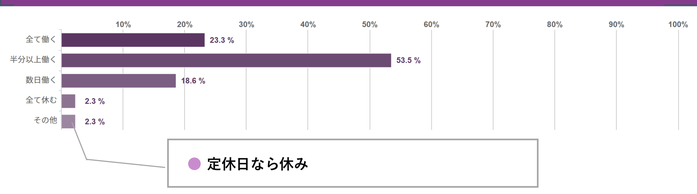


非常に大きい　ある程度大きい　あまり影響しない　まったく影響しない

大型連休中の業界全体の仕事動向

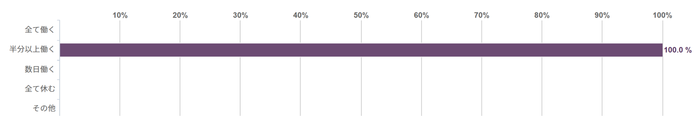
－あなたの業界全体の傾向として、大型連休中に仕事をしていますか？

美容業

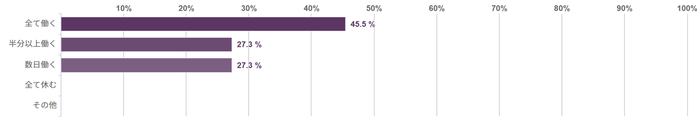


- 定休日なら休み

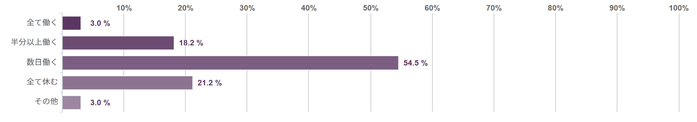
飲食業



小売業



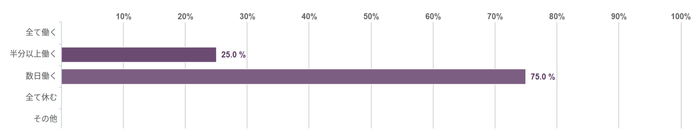
建設業



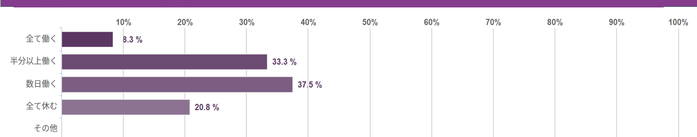
運送業

- B to CかB to Bかで異なる。

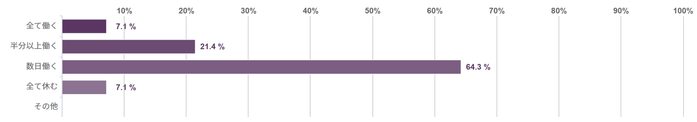
不動産業



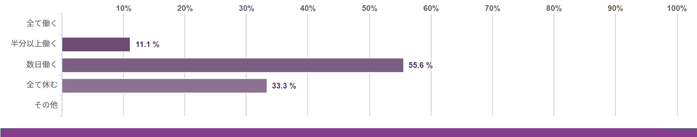
WEBサービス業



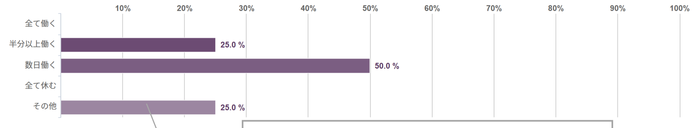
医療業・福祉業



専門家(士業・FP・コンサルなど)

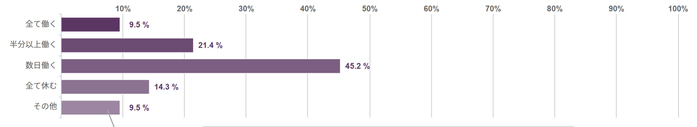


個人投資家



- 個人個人でやり方や考え方が違う

その他

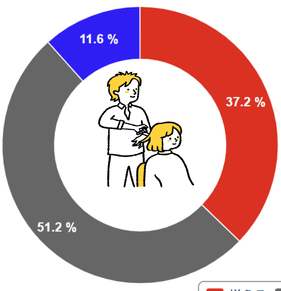


- 業務内容や取引先しだい
- 個々人の計画にて活動してる
- 進学塾か一般的な習い事かで異なる
- おそらく仕事をしている方が多い

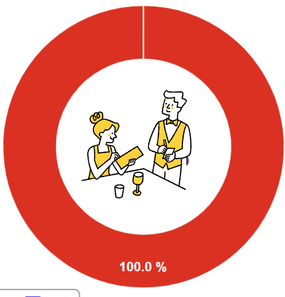
大型連休中の仕事量

－あなたの業界において、大型連休中の仕事量は普段と比べてどうですか？

▼ 美容業

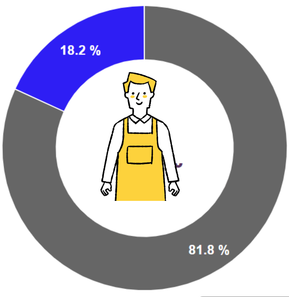


▼ 飲食業

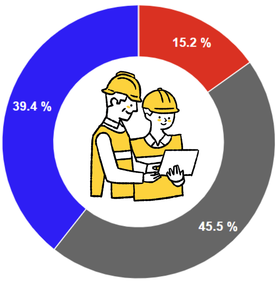


増える　変わらない　減る

▼ 小売業

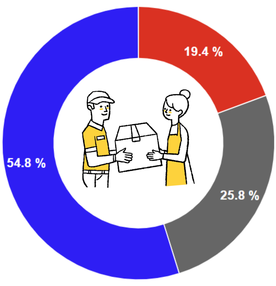


▼ 建設業

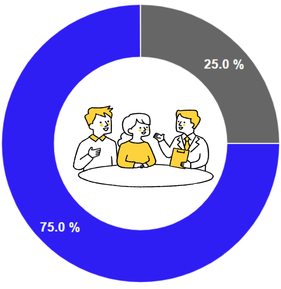


増える　変わらない　減る

▼ 運送業

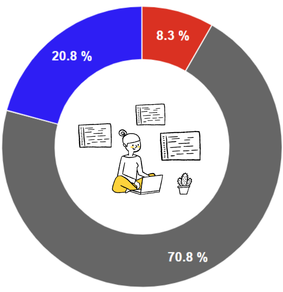


▼ 不動産業

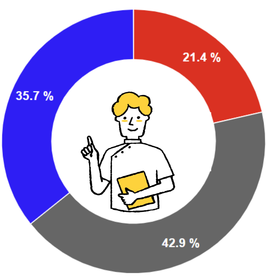


増える　変わらない　減る

▼ WEBサービス業

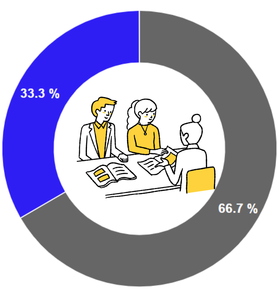


▼ 医療業・福祉業

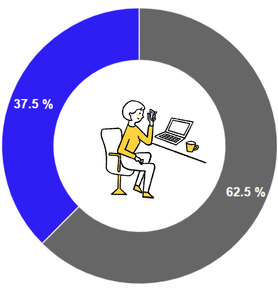


増える　変わらない　減る

▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

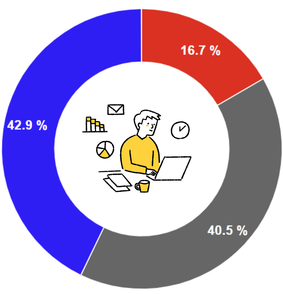


▼ 個人投資家



増える　変わらない　減る

▼ その他

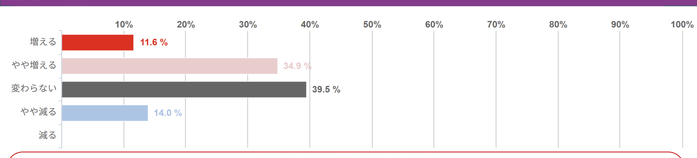


増える　変わらない　減る

大型連休中の売上

－あなたの業界において大型連休中の売り上げは普段と比べてどうですか？
理由を、あなたの業界の特徴を踏まえて回答してください。

美容業



【増えると回答した方】

- 休みの日に、癒しを求めて来られるお客様が居るから
- まだまだ土日祝にお客様を固める傾向がある
- 休みの時にしか御来店出来ないお客様がいる
- いつも連休だと集客が増える傾向にある
- BtoCのため一般の人たちの休みは集客しやすい

【やや増えると回答した方】

- 普段土日しか来れない人が平日に来ることによって、土日が空くから、その分お客様が来る
- 休みのお客さんが多いから、必然的にあがる
- お客様は大型連休をすべて帰省やレジャーや旅行に行くわけではないから
- 連休にしか来れない方もいるため、サロンによっては客数と売り上げがあがる
- 人が動くときに働くことで人が集まりやすい
- 休暇前は忙しくが、連休後半は落ち着いた流れになる
- 普段仕事な人が休みになるので予約が潤う

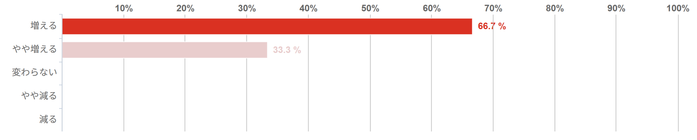
【やや減ると回答した方】

- 大型連休中は基本的に、レジャーや旅行に行く為、美容院には来ない
- 大型連休前にお客さんが集中して、連休中は皆さんお出掛けになるから
- 連休前に来るかたが多いので連休中は空いていることが多い
- 美容室に関しては連休前に行く人が多いので、やや減る
- 最近は常に美容意識の高い方が多く連休前に慌てる事が無いことや連休前済ませる方が多い
- 働き方の変化で連休を取るスタッフも増える

【変わらないと回答した方】

- 周期的に来店サイクルがあるため
- リピートする顧客が大半であれば、おおよそ変わらないだろうし、変わるような業務をやらない
- 連休中の曜日や長さ、天候気候によってその時々で変わるので 良くなる時もあれば悪くなる時もある
- 連休開始直後と終わり間際が忙しく、あいだは暇になる傾向があるのでトータルであまり変わらない
- 普段来る人が少なくて、地方から帰ってくる人が来てくれる傾向が多いので変わらない
- 普段暇なお店は忙しくなるであろうが、普段から忙しいお店は変わらない
- 基本的には土日や祝日に来店するお客さんが分散するイメージなのであまり変わらない
- 連休前は忙しいけど連休中はそんなに変わらない
- １人のお店なので、できる人数に限界がある

飲食業



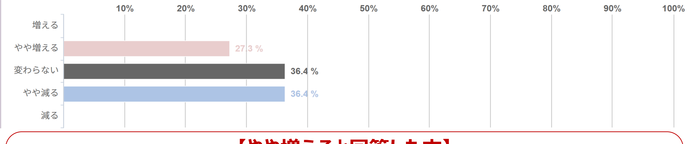
【増えると回答した方】

- やはり人が動く、出かけるのでお金を使う事が多くなる
- 飲食業なので大型連休が1番忙しく売り上げも増える

【やや増えると回答した方】

- 大型連休中は外食需要が増え、来店客数が大幅に増加する

小売業



【やや増えると回答した方】

- 大型連休はネットを見る人が多いので売り上げ増が期待できる
- 食品なので、休み中の必要な分を買いだめる人が多い

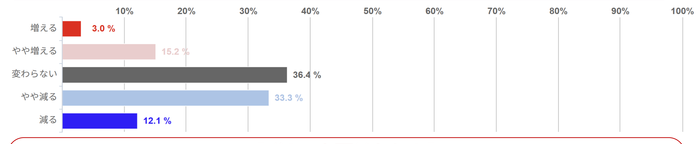
【やや減ると回答した方】

- 仕事している人がへりその分客数がへるから
- お客様がサラリーマンさん、OLさんが多いので連休で来店数が減る

【変わらないと回答した方】

- 一年を通して大型連休だからといって売り上げは変わらない
- 日常で買う商品なので連休だからといってトータルの売上の変化は少ないため

建設業



【増えると回答した方】

- 大型家電量販店の委託の作業なので平日に比べたら増える

【やや増えると回答した方】

- お盆の休暇を使って、依頼してくる所が結構あるので普段より忙しくなる所もある
- 大型連休しか出来ない工事の依頼がある

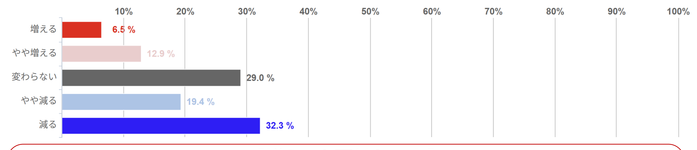
【やや減ると回答した方】

- 元請の会社が休みであれば仕事が回ってこない
- 業界的に休みを取るところが多く、お客様も旅行などのレジャーを取るから
- メーカーや工務店が休むので巻き添いで休む業者さんが多い
- 監督たちが休みなので基本的には仕事出来ない

【変わらないと回答した方】

- 建物一棟の金額が決まってるので平日でも連休中でも売り上げが変わる事は特にありません
- 月契約だから働いても働かなくても収入は変わらない
- 大型連休だからとかそういうのは特に関係ない

運送業



【増えると回答した方】

- フードデリバリーは連休中に需要が増えるので単価も上がる
- 観光で人の移動が増えると仕事量は増加する

【やや増えると回答した方】

- 夏場は繁忙期であり、物量が増えるので収入が上がる
- 食品配送が主なので配送案件は増える
- 家にいる人が多いので注文数が増えるので多少忙しい

【やや減ると回答した方】

- 運送業は会社関係は連休で休みなので運送量は少なくなる
- 個人単位の旅行や企業の休みのために荷物量が減る

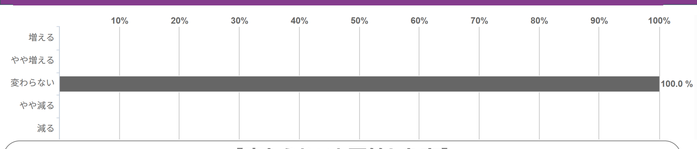
【減ると回答した方】

- 企業が休みのため普段よりは仕事が少ない
- 個人配送業ではやはり大元の社員ドライバーだけで補える荷物量しかない

【変わらないと回答した方】

- 365日物流は動いているので特に変わりない
- 企業への配達はないが個人への配達は365日ある
- 特に連休だからといって単価が変更するわけではない

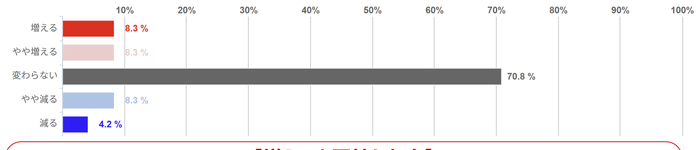
不動産業



【変わらないと回答した方】

- お客様にあわせて仕事をする
- 家賃の割合が大きいので、それ程変化はない
- 賃貸不動産の家賃は、休日かどうかは影響しない
- 賃貸物件の情報はSNSで確認できて、不動産屋もお盆も営業しているので変わらない

WEBサービス業



【増えると回答した方】

- 休日はSNSやネットの利用が増えるため、 宣伝や購買に繋がる

【やや増えると回答した方】

- どちらかというと下請けのような仕事になるので、休み前にどっと仕事を出されることが多い
- 自宅時間が増え、スマホを触る時間が増えるため、ネットコンテンツの消費が増える

【やや減ると回答した方】

- 法人案件が減ってしまうため

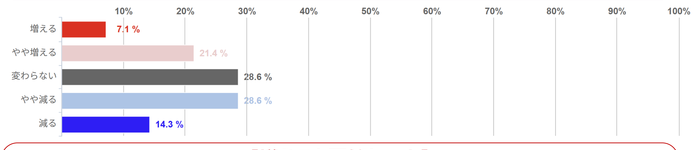
【減ると回答した方】

- Webサービスといえどクライアントも休む

【変わらないと回答した方】

- 平日、休日など関係ない契約内容
- インターネットでのサービスなので、大型連休でもあまり影響がない
- 月額契約のため、休暇の有無で売上は変動しないため
- webサービスであるため、全く関係ない

医療業・福祉業



【増えると回答した方】

- 利用者が休みになると仕事が増えるので収入も増える

【やや増えると回答した方】

- 1単位点数制で金額に反映されることが大きい

【やや減ると回答した方】

- お盆休みで旅行や実家に帰る方が多く、人の往来が減るから

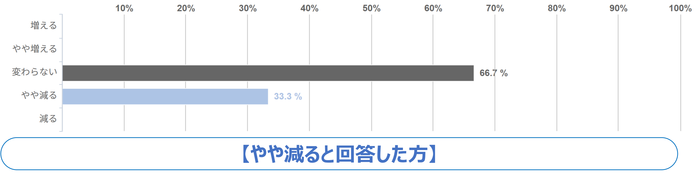
【減ると回答した方】

- 大型連休中は患者さんも遊びに行っていることが多い

【変わらないと回答した方】

- 平常時と特に変わらないので、売り上げも変わらない

専門家(士業・FP・コンサルなど)



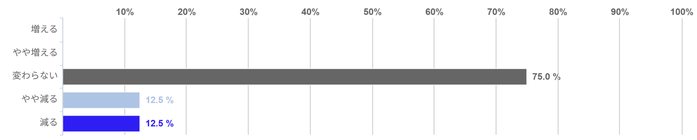
【やや減ると回答した方】

- 稼働日数が減ったり企業側の活動が沈静化するので減る
- 案件対応ベースでのフロービジネスの為影響ある

【変わらないと回答した方】

- 年間契約で報酬を決めており、休日の影響を受けない

個人投資家



【やや減ると回答した方】

- 暗号資産業界としては基本的に年中無休の業界なので大型連休等には影響されにくい

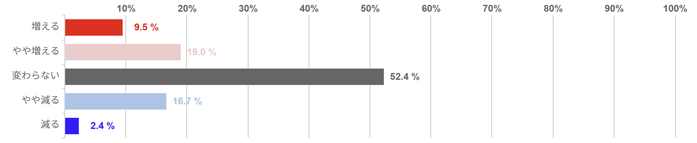
【減ると回答した方】

- 基本的に相場が動いてないので、利益が出ない

【変わらないと回答した方】

- ステーキング報酬(配当)なので いつもと変わらない
- 連休であろうがそうでなかろうが一定の需要が常にある

その他



【増えると回答した方】

- 基本的に休みのとかの方が昼間の利用が増えるため
- 宿泊をともなう仕事になる為、収入が増える
- 旅行を扱う業種のため、大型連休は利用者が多くなる
- お客様がお休みの期間に需要がある仕事なので、顧客が増える

【やや増えると回答した方】

- 実家へ帰省される事により契約へのアポが取れるから
- エアコン設置がメインなのでこの時期が一番忙しい
- 連休中の方が予約が入りやすく、空きが少なくなる

【やや減ると回答した方】

- 大型連休は予定が入っている方も多いので仕事が入りにくい
- バックオフィスのサポートなので、委託元が休暇中であれば、業務もストップする
- 祝日にわざわざ保険の話を聞きたい人なんかそもそも少ない

【減ると回答した方】

- 顧客も休みをとっている所が多いので需要が減るから

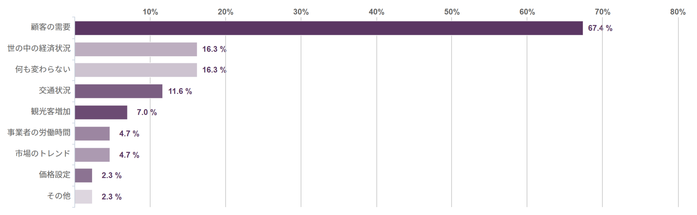
【変わらないと回答した方】

- 大型連休の売り上げは、あまり関係ない
- 一ヶ月、なにをするか決まっているので、売上はまったく変わらない
- 月謝ビジネスなので連休の有無で売上は変わらない
- 特に手当てがつくわけでもないので、変わらない
- 年間の仕事日数があらかじめ決められているので、変わらない

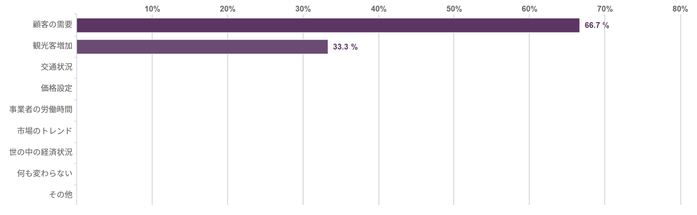
大型連休中の売上変動の要因

－あなたの業界において、大型連休中の売り上げの変動は、どの要因が大きいと思いますか？

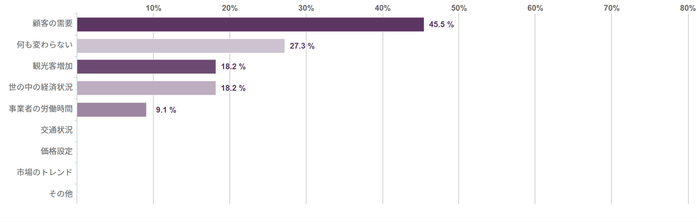
美容業



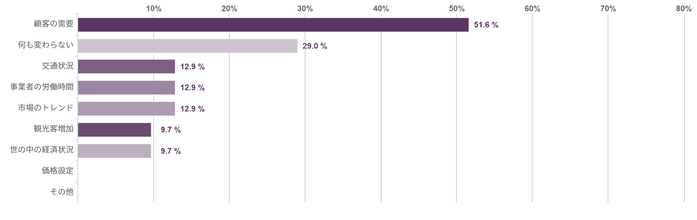
飲食業



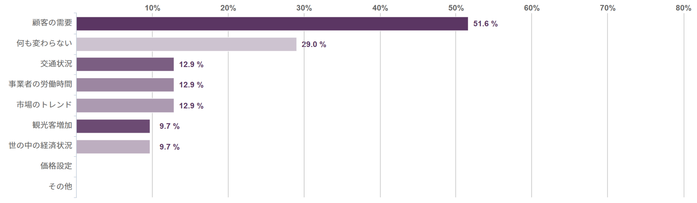
小売業



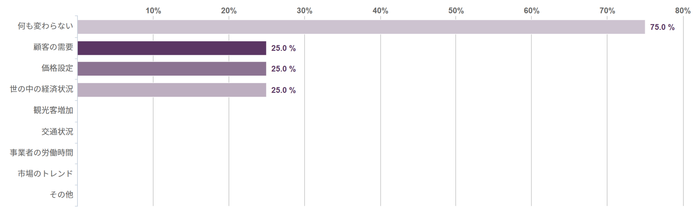
建設業



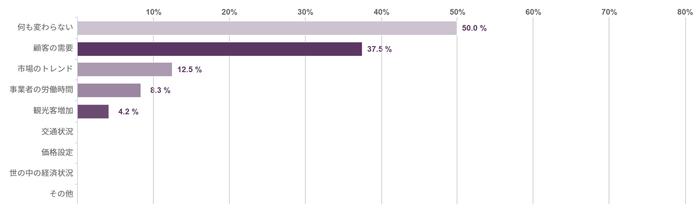
運送業



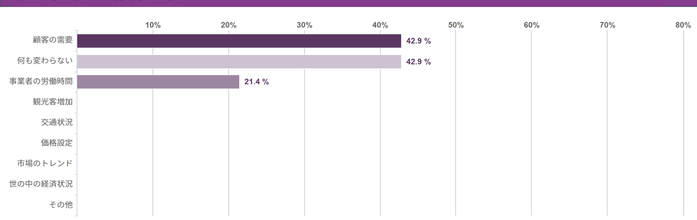
不動産業



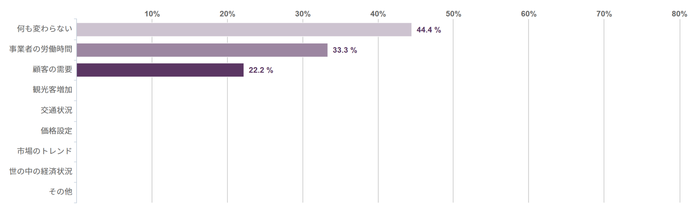
WEBサービス業



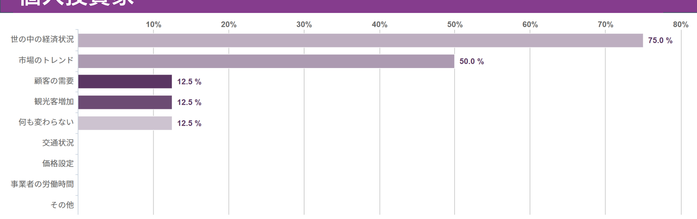
医療業・福祉業



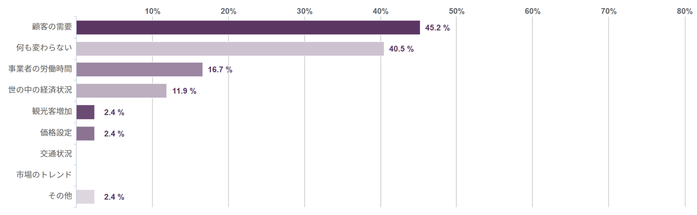
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



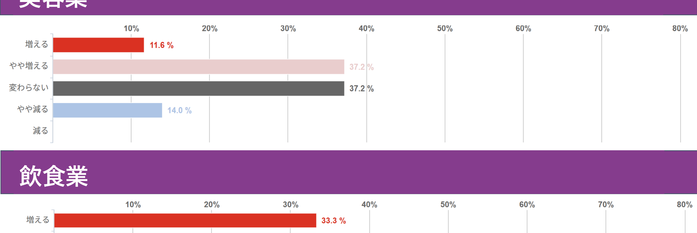
その他



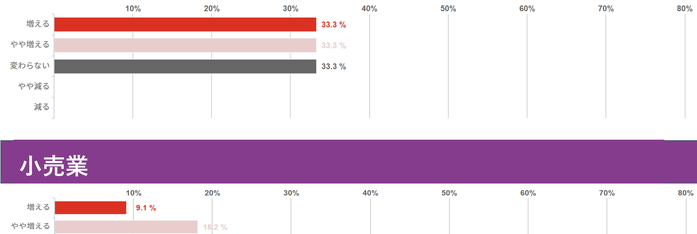
大型連休中の顧客数の変動

－あなたの業界において、大型連休中の顧客数はどう変動しますか？

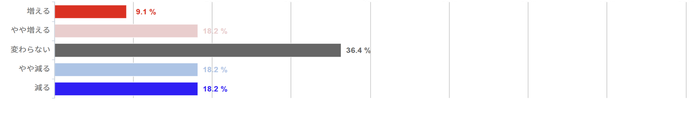
美容業



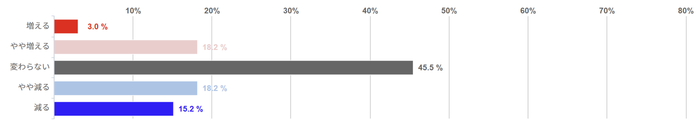
飲食業



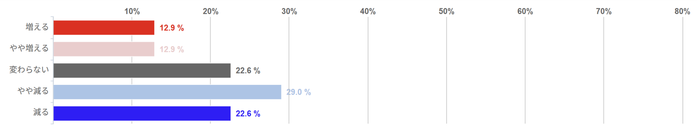
小売業



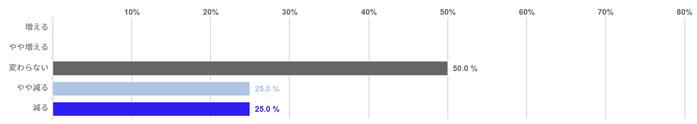
建設業



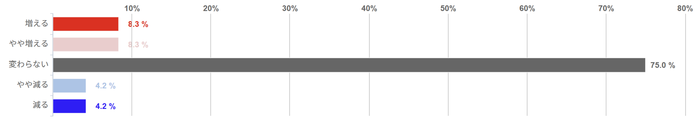
運送業



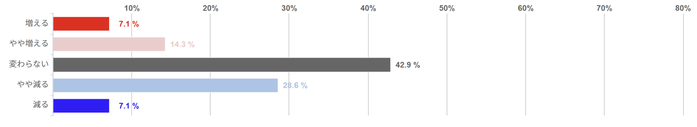
不動産業



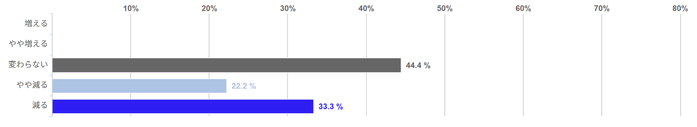
WEBサービス業



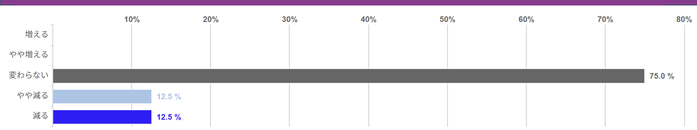
医療業・福祉業



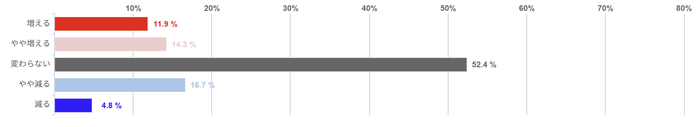
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



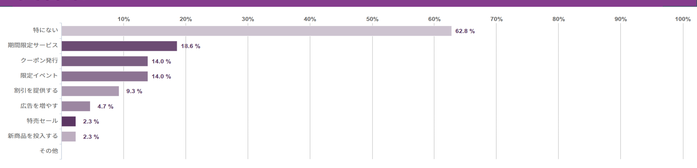
その他



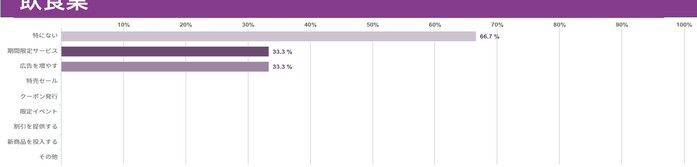
大型連休中の売上最大化の施策

－あなたの業界でよく行われる、
大型連休中に売り上げを最大化するために行う施策は何ですか？

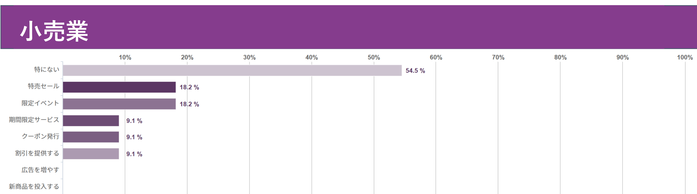
美容業



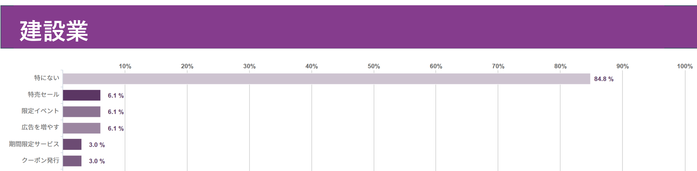
飲食業



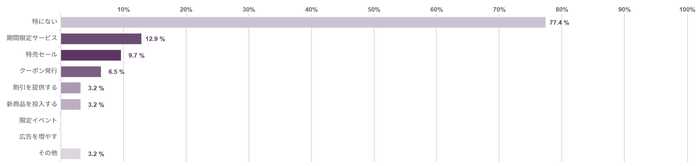
小売業



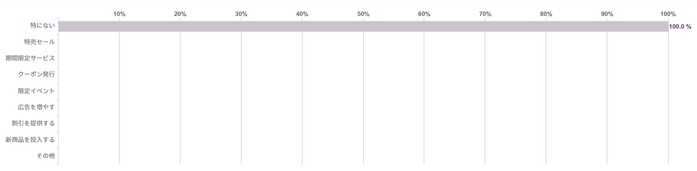
建設業



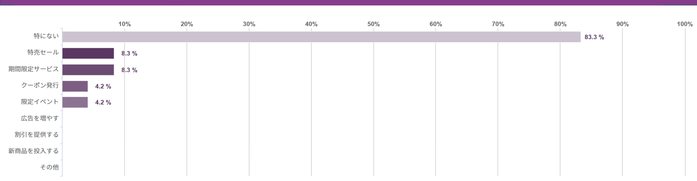
運送業



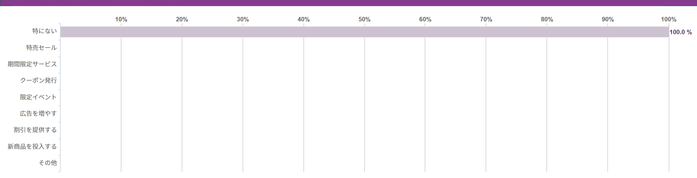
不動産業



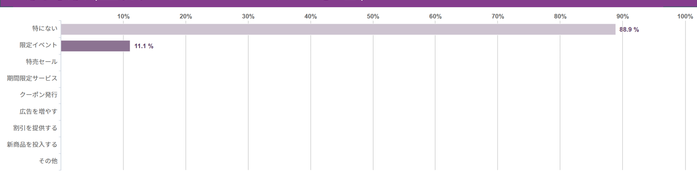
WEBサービス業



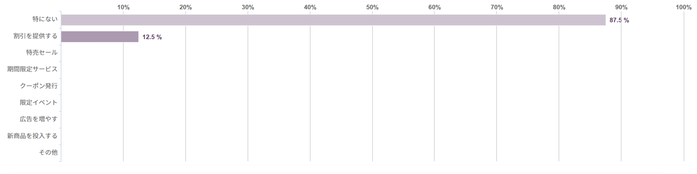
医療業・福祉業



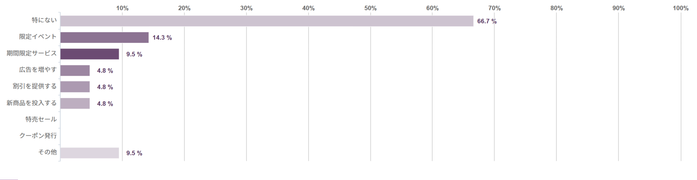
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



その他



大型連休中の売上への課題

－あなたの業界において、大型連休中の売り上げに関して、
特に感じている課題や問題点は何ですか？

美容業

- 増える場合もあるが、連休があるとみんな出かけるので、暇になる場合もある
- 人数が多いところは広告やキャンペーンでガンガン稼げる
- 売り上げが上がるチャンスではあるが、スタッフの休暇を希望してくるので、難しい
- 減る事が多いので、その辺を補填することが出来るようなイベントやメニュー展開で補う
- 季節的なメニューや、季節的なセット売り、季節的なネーミングのメニュー
- 業界的になりますと、お客様に来ていただくために工夫は必要
- 年末年始以外であれば、平常に業務をすることが大切だと思うのでそのように顧客に伝える
- 大型の店舗だと、子どもが小さいスタッフは休みたい人が多いと思うので その間のシフトの組み方
- 大型連休のあるひと月、またはその前後3ヶ月での売上で数字を考えるようにする
- 連休前と明けに予約が集中してるので分散できるほうがいいときもある
- 連休の最初は日は来店人数が増えるがなかばは出かける人が多いのか増えない
- 連休で出かける方も多いので連休中よりもその前後に来るケースが多い
- 前半と後半に来客が集中するので大型連休の真ん中に分散する様にする
- お客様で混雑する事もあるので事前に説明をしておいてお断りをしないといけないこともある
- 日により、ムラが生じるのでしっかりと分散できるようにすること
- 家族連れが多く普段のお客様のお連れ様も増えることが多い
- 場合によっては客数がふえて、常連客の予約が取れないこともある
- 連休前が忙しくなって連休中は落ち着くのでそのまま忙しくなるといい
- 予約枠が早く埋まる事もあり、キャンセルが出ると無駄になることがある
- 暇にならないように、また予約が重ならないように次回予約を徹底する
- 休みたい従業員と、来店されるお客様の数とのバランスをとること
- 客層によってはファミリー層が多いと出かける方が多いため中だるみが起こる
- 忙しい前提でいるので、思ったよりもヒマになると拍子抜けしてしまう
- 土日休みのお客様が多いので、平日休みの人や専業主婦などのミセス世代を集客する
- 他はわからないが大型連休になると、動きのペースが変わる感じがして疲れる
- マンツーマン施術なので大きな金額の変化がないことが課題

飲食業

- 人で不足で営業がうまく回るかが凄く心配
- スタッフの体調管理
- 大型連休中は人手不足や在庫管理が難しく、サービス品質の維持が課題
- 飲食業では大型連休こそ売り上げが見込めるのですが、課題として人員の確保が難しくなる

小売業

- 連休中に売れる分に、連休明けに売れなくなるから、本当はバランスよく売れて欲しい
- 仕事を委託している人が休みをとっている可能性があるので、仕事量の負担が把握できない
- どれだけ適正な注文するか、ロスを無くして廃棄をなるべく出さない
- 特に休みが少ない業界なのでもう少し休みを増やしても良い
- 運送業が企業により止まってしまうことで納品が滞り納品が遅れ売上に響いてしまうこと
- 主に顧客のお客様が減るため、通常との物量の調整が読めないこと
- 業務用の商材だけでなく、他の商材も幅広く扱う必要がある
- 観光地にある小規模事業者の場合、急激な売上の上昇があっても対応しきれない場合がある

建設業

- 建設業なので現場がお盆休みを取れば自動的に休みになるのでしかたがない
- みなさんが休みのときにはたらくので、もう少し休日手当の賃金があがってほしい
- 大型連休中は、お客様も休日を旅行などで楽しむ方が多く、打ち合わせや契約行為ができない
- ゆっくり休めるのは嬉しいが休んだ日数分売り上げが減るのでその分生活がきつくなる
- 大型連休のある月は、連休に仕事が集中しがちなので体力的にキツく感じる時がある
- 大型連休中は1件単価を上げるなどの対策をしないといけないこと
- だいたい工期が連休までとか無理言って来るので、なるべく詰めた工程を組むようにしている
- 工事予定が詰まってしまい、自分の休みが取れなかったりする年がある
- 連休中の仕事は割り増し料金などの対策が必要
- ハウスメーカーや工務店が連休しているから、ほとんど仕事がない

運送業

- 顧客への配達の遅れや、効率的なルートの確保が難しい
- 運賃に大型連休中の割増しがあればいい
- 現在は年中無休であるが、大型連休の際は、全体的に数日は休日を設けたほうがいい
- 売り上げなどは特に変わらないが交通状況で道が混み合うなどの不安はある
- 捌ききれないほどの荷物があるので、元請と相談し、自分の限界を知ることが大切
- 連休中は配送量も少ないし不在の家も多いので売上は少なくなる
- 注文数が混み合い過ぎて、配車をしているAIが混乱してグチャグチャになる
- 業務量の確保をしたいが、需要が少ないことで対応に苦慮することが多い
- 荷物を受け取る人が旅行に出かけてること
- 荷物量が減ってもゼロになる訳ではないので稼働日数時間は変わらないこと
- 高速道路の渋滞観光地による一般道の渋滞天候等外的要因に左右される事
- 荷物量が減るので、いかに減った分をカバーし、売り上げをあげるかが重要となる

不動産業

- 大型連休中は仕事をしないので、売り上げ等に関して考えていない
- 自己責任の時代になり、オーナー自ら紹介ビデオや写真を提供する時代になってきた

WEBサービス業

- 在宅で仕事をしている人の中には子供がいる人も多いので、たまに仕事が多すぎて回らなくなる
- 売上が顧客のニーズの影響が大きいため、世の中の動きや世論などにいぞんしてしまう
- 契約形態の性質上、連休を取得しても特段売り上げに変動はない
- 大型連休と売上には特に関連がないが、顧客側が休みだったりするので連絡が遅れたりする
- SNSでの、宣伝や誘導をどのように売上に繋げるかが大きな課題点
- 大型連休中は、ユーザーのオンライン活動が普段とは異なるパターンを示すことがある
- IT業界なので、売り上げに直接的な関係はない

医療業・福祉業

- 休みだからと言って、人数に限界があるので、超えた場合は断る
- 従業員も休むし、患者も減るので。 売り上げが落ちるのはどうしようも無い
- 従業員不足でサービスが提供できず利益と需要を満たせないことがある
- できるだけ早く予定で埋めること
- 必要以上に受診するようなことは避けて、健康的に過ごすことを心掛ける

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 連休中も動く案件を持つようにしている
- ありとあらゆる業界が顧客となるため、休む業界が多いので売上は減る
- クライアント企業も休みのため、事前にスケジュールの共有をしっかりしておく必要がある
- アライアンス企業およびクライアント企業との連携性が脆弱化してしまう
- 繁忙期の稼働時間確保が課題

個人投資家

- 市場の流動性低下、サポートの遅延、市場の方向性の不確実性
- 株などの売買している投資家であれば、大型連休特有の需要がある企業を見定めれるかどうか
- 取引量の減少、流動性の低下、価格変動リスクの増加が課題
- 自分のスキルと市場の動向しだいなので、常に自分の勉強や練習量を増やすのが課題

その他

- その時期に限定で作業を依頼をピンポイントで請負などできないかを検討する必要がある
- 稼働が増えるプラスイベントをするので一日の中で休憩を取りにくくなる
- 委託元が休みであれば連絡が取れなくなる、確認ができずに業務が進まなくなる
- 月間の契約稼働時間に対し報酬が出るので、それを下回らない限り、いつ休んでも同じになる
- 活動量を効率化するためのスケジュールを早めに行っておくことが必要
- 月謝ビジネスなので変動はない
- 移動が多いため交通量が増える為スケジュール通り行かない可能性が高くなる
- 人件費の増加や、外注先の費用の高騰によるコスト増などのため収益が悪化すること
- 使用するユーザが減っても、システムとしては止められないので対応としては変わらない
- 連休中は働きたくない人が多いので休日の給料や手当を手厚くしないといけない

大型連休中の業界あるある

－他の業界にはない、あなたの業界での大型連休あるあるを教えてください。

美容業

- 新規の人やあまり来ない人が休むが増えるとガバッとくるとかがある
- 友達や、家族とかと、ペアや、３人などで予約が入ると、スタッフを確保出来ない
- 連休中の過ごし方を聞いて共感する。旅行先で使えるようにヘアケアの試供品を渡す
- お盆前の白髪染急増
- 朝から晩まで仕事なので友達と遊べない
- 同業者意外との旅行の予定は立てれない
- 売り上げのムラ

- 連休をずらしてとったほうが空いているので動きやすい
- 男性のお客様が増えたら一見さんが来られることもある
- 休日のほうが動員が見込めるので、いかにそこで売り上げをあげるか
- 営業時間を伸ばしたり、単価を下げて客数をあげる
- 連休前に忙しくなって、連休中は暇
- ご新規様の当日のご予約や飛び込み来店など普段あまり起こらないことが起こることがある
- 連休入る前にカットしたいみたいなので、連休初日と最終日がこむ
- 大型連休前に忙しさのピークを迎える
- 紹介で日頃来ないお客様が増える
- 転勤などで他県に行った人が久しぶりにきてくれたりする

飲食業

- 忙しくなると予想したが、暇だった
- 大型連休中は、食材の仕入れが通常よりも難しくなり、特に生鮮品の確保が困難
- 大型連休が終わるとかなり暇になってしまう

小売業

- 里帰りした時や家族が集まる時など、大型連休の時のみに来店くださる方が多くいる
- 商品配送までのハンドリングタイムの設定を変更すること
- いつも通り注文して廃棄をいっぱい出して慌てて修正する
- お盆中に安い仕入れが出来る可能性があること

建設業

- 企業が休みの時は忙しい
- 旅行先でもLINEやメールにて、打ち合わせや契約行為ができ、便利になった
- 構内の電気が来なくなるので何もできない
- 資材屋が休みになるので材料の買い物ができなくて仕事がとまり連休明け残った仕事に追われる
- 大型連休の時だけお付き合いしている顧客が居る
- 大型連休のある月は売り上げが少ない
- 現場で使用する材料の調達が難しくなる
- 業者により、作業工程を調整して、工期内に終わらせる業者もいる
- エアコン工事がメインになるので夏期は他の業者に比べて繁忙期になる
- 大型連休中でしか出来ない仕事がある
- 体を使う仕事なので、連休明けは体がなまって怪我や体調を崩す事が多くなる

運送業

- 大型連休中は観光地や高速道路が混雑し、交通渋滞が発生する
- 渋滞に悩まされる
- 不在が多くて荷物を渡せない
- 大型連休中は顧客の在宅率が悪いため、思うように仕事がすすまない
- 運送業なので大型連休で家にいないため荷物が配達できない
- AIがパニクって配達効率がグチャグチャになる
- 時間に追われることが多いので３食コンビニのオニギリになりがち
- 運ぶ荷物により季節感を感じることができる
- 大型連休で不在続きになり、荷物が持ち主に戻されてしまう
- 荷物量が減り、荷物の不在率が高くなる

不動産業

- 不動産会社がお休みになると賃貸不動産の内見が無くなる

WEBサービス業

- 365日、曜日など関係なく業務は発生すること
- サーバー等の障害が起こりやすい
- システム変更があれば、連休に実施
- 工場を抱えていたり、工場内オフィスの企業も多いため停電や断水が理由で長期休暇となる
- 臨時対応が必要な業務内容が発生しうるため、担当業務によっては連休取得が困難
- 連休中でも不具合などが発生すると緊急で対応が必要なことがある
- IT業界は夏季休暇は交代で個人ごとバラバラに取得するので業界全体での休暇という意識は薄い
- 普段とは異なるトラフィックの増減があること

医療業・福祉業

- 他の業界だと客が来ないから休みというケースもあるけどこの業界はない
- 個人事業主なので、お盆を避けて休む
- 他院が休んでいたり、整形外科が休んでいて、新規が来る事がある
- 連休前に作って欲しい人がかなりいるため納期が狭まり、かなり連休前に忙しく徹夜になる
- 普段診ていない初診が飛び込みで来る
- 積み重ねて傷んだ体を、休み中にすぐに何とかして欲しいという要求
- 休みになればなるほど仕事が増えるので収入も増える
- 大型連休で実家に帰ってきた顧客が久しぶりに来ること

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 役所を相手にする業務がほとんどなことから、大型連休だからって事がない
- インタビューなどの定性調査が、対象者のアポが取りやすいため、連休に実施される場合がある
- クライアント企業及びアライアンス企業協力が難しくなる
- 繁忙期とゴールデンウイークが重なるため稼働時間を確保するのに苦労する

個人投資家

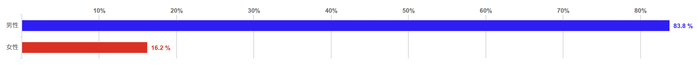
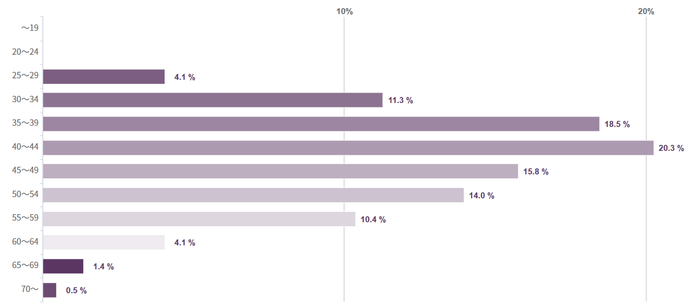
- 価格の急変動
- サイバーセキュリティ事件の増加
- 友人と遊びに行ってもチャートが気になってしまうことがある

その他

- プロジェクトにより休暇取得の難易度が違う
- お客様が少なくなるのでその期間だけ営業時間を短くし、スタッフを休ませるようにする
- アポを取っても、平日に変更が多々あること
- 受験生の対応で年末年始に開校することが当たり前となっている
- 全く普段と変わらないので、連休感が感じられない
- ペットホテルの利用が増える
- 設備更新の時期が連休中に集中する
- 人が少ないので作業がはかどる

本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢